

佐渡米通信

こめる

2022年 2 月号

発行日:2022年2月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部販売企画課 駒形・澁谷・渡辺(清)
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

佐渡米カレンダーで年間計画ばっちり!

今年も「環境にやさしい佐渡米づくり」カレンダーが完成しました。恒例になりますが、表紙は佐渡の生きものたちで飾られています。カレンダーは月ごとに作業中の注意事項やポイントが掲載されており、米生産者の方々に配布されます。毎月の米作りの指標になるほか、指導会にも持参して資料として使われます。



令和4年度佐渡米カレンダー(表紙)

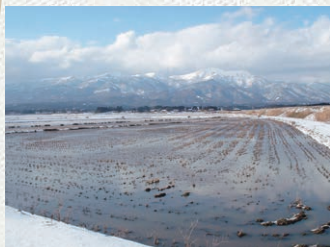


栽培ポイントが記載されたカレンダー

冬の間も生きものを育む 「ふゆみずたんぼ」

生きものを育む農法の一つ「ふゆみずたんぼ(冬期湛水水田)」は冬の間、生きものたちの貴重な餌場になります。田んぼに水を張っておくことでドジョウやイトミミズなどが暮らせるようになり、それを目当てにトキなどの鳥達が行ってきます。

田んぼには水をためやすくするため軌跡がついており、くちばしを突っ込んで餌を探すトキの姿が見られます。



ふゆみずたんぼ

羽田空港で佐渡農畜産物プロモーション活動!!

羽田空港にて佐渡農畜産物のプロモーション活動を行いました。このイベントは、トキエア株式会社(10月1日付けでJA佐渡と連携協定を締結)との共同出展となります。期間中に羽田空港内のRistrante三本珈琲店で佐渡乳業とのコラボメニューが提供されました。また、会場では農畜産物が当たるWEBアンケートを実施し、アンケート回答は今後の朱鷺と暮らす郷米の販売促進活動やECサイト「さどまるしえ」の商品開発の参考にします。2023年以降にはトキエアの佐渡空港への就航が予定されています。

お客様の中には11月6日に放送されたTBSの番組「報道特集」でネオニコチノイドを使用していない米作りの取り組みを知り、エールを送ってくださる方もおられました。



お客様に佐渡米の取り組みについて説明をするJA佐渡職員



展示ブースで佐渡米などの販売



トキエア株式会社の就航PRパネル

無印良品「佐渡のつながる市」に出店!! なおえつ良品食堂×朱鷺と暮らす郷米コラボも!

無印良品直江津店で佐渡を拠点として活動している生産者や小売店が集まり、商品を販売するイベント「佐渡のつながる市」が開催されました。「つながる市」は、毎月1回程度の頻度で無印良品のイベントの1つとして開催されています。佐渡をテーマにするのは今回が初めてです。

JA佐渡からはお米やリンゴ、ミカン、あんぼ柿、いちじくジャム、佐渡バターなどの販売を行いました。この開催されている2日間限定で、なおえつ良品食堂で提供するお米を「佐渡市認証米 朱鷺と暮らす郷」米コシヒカリが使用されたコラボメニューが提供されました。



JA佐渡出店ブースの様子



コラボメニューの1つ「麻婆丼」

無印良品直江津店周辺地域の方は、地元のお米を食べている方が多かったですが、「トキのお米も食べていますよ!」と声をかけて頂くこともありました!!



なおえつ良品食堂での「朱鷺と暮らす郷」米コラボ

JA佐渡の公式 Facebook「佐渡のたんぼにつき」で佐渡の情報が見られます。
<https://www.facebook.com/jasadotanbo>

